

クラスの様子【3月号】

●ひよこ組 今月の目標 進級に向けて新しい環境に少しずつ慣れていく。

先月は保育参加があり、普段園で食べている離乳食、給食の様子を見て頂きました。野菜が苦手な家でなかなか食べない子も園ではパクパク食べて、間食しているお子さんの姿を見てびっくりされている保護者の方もみえました。お家での姿とは又違う一面を見て頂き、大好きなお父さんお母さんに褒められ、子ども達も嬉しく自信へとつながった事だと思います。自己紹介では H 君のお父さんから素敵なエピソードを聞かせて頂きました。「今朝 H 君が洗面所で自分の椅子（踏み台）を持って来て、んっ！んっ！とコップをとって欲しいと訴えていたので、コップを渡すとうがいをする真似をしていた」というお話でした。お父さんお母さんが毎日の習慣としている事を H 君はよく見ている、自分もやってみようと思ったようです。こうして大人がする事を子ども達はよく見て、真似をしていくのですね。ひよこ組での生活も残りひと月となり、4月からはお兄ちゃんお姉ちゃんになります。今までりす組の子がする事に興味を持ち、刺激を受けていましたが、今度は年下の子に優しくしたり、お手本となりながら大きくなって欲しいなと思います。（坂）



●りす組(もも) 今月の目標 身の周りのことを自分でしようしたり、遊びを通して友達との関わりを深める。

りす組での生活も残り一ヶ月となりました。先月は、保育参加があり、お父さんやお母さんと一緒に子ども達が大好きなふれあい遊びや製作をしたりとゆったりと楽しい時間を過ごしてもらったのではないかと思います。製作では、少し選択性を取り入れ、好きな色の画用紙、ペンやシールなどの素材を子ども達が自分で“あか”“みずいろ”と選ぶ姿がありました。普段から大人が全て決めてしまうのではなく、“どっちにする？”と尋ねてみることで目で見て選択する姿が見られるようになり、このような経験をこれからも大切に見守っていきたいと思いました。最近では、うさぎ組の進級に向けていちごグループと一緒にうさぎ組のお部屋で遊んだり、排泄をしたりと少しずつ環境に慣れていけるように一人一人の様子を見ながら、声をかけています。身辺整理、着脱、排泄などほとんどの子が自分でやろうとしたり、出来るようになってきました。そのような姿を優しく見守りながら、安心して進級することを楽しみにできるように関わっていきたいと思います。（三浦）



●りす組(いちご) 今月の目標 ひとつ大きくなる喜びを感じながら楽しく過ごす。

2月に入り、ももグループとの交流が増えてきました。始めはいちごグループの友達との関わりが中心だったのが少しずつももグループの友達の名前を呼んで関わり、一緒になって遊ぶことも増えてきました。また、散歩ではももグループと合同の2グループに分かれると自分とは違うグループにいった友達や保育士の姿を気にしたり、散歩先で出会うと嬉しそうに「おーい！！」と声をかけ、会えた喜びを感じています。お部屋にみんなが帰ってくると「おかえり」「ただいま」の声の掛け合いがありとても温かい雰囲気があります。また、ライオン組のお兄ちゃんお姉ちゃんがりす組に遊びに来てくれています。一緒に遊んでももらったり、ぎゅーと抱きつきに行ったり甘える姿も見られます。いちごグループのほっとした安心できる友だち関係の中で色々な人と関わることが出来たらいいなと思います。最近ではうさぎ組で過ごす事も増えてきました。「もうすぐうさぎ組になってみんなはひとつお兄ちゃんお姉ちゃんになるよ」ということを伝えると喜ぶ子もいます。あと残り少しのいちごグループの友達と過ごす時間を大切にしていきたいと思います。（谷口）



●赤うさぎ組 今月の目標 異年齢の友だちと関わったり、環境に慣れる。

少しずつ朝の時間や、主活動の時間を利用して異年齢クラスとの交流をしてきましたが、2月からはとちのき組で過ごしたり、白うさぎ組と混ざってのグループでの活動と赤うさぎだけでなく色々な友だち、年齢との関わりを大切にしてきました。その中で給食をホールで食べていると、横にいる年中児、年少児の姿を見て『年少さんになったら、子どもが「いただきます」するんやな』と大きい集団の中に入るの、お家のかたも子供たちも最初は不安に思われるかもしれませんが、子ども関係をしっかりみたり、安心して生活出来るように私達も今のひとりひとりの姿を見ながら話し合い、見守ったり手を差し伸べたりしています。そして、甘えたい時、気分がのらない時は受け止めたりしながら関わりを持つようになっています。生活面、環境など、丁寧に見ながら3月を過ごしていきたいです。（澤井）



クラスの様子【3月号】

●白うさぎ組 今月の目標 異年齢の友だちと関わったり、環境になれる。

いよいようさぎ組で過ごすのも残り一ヶ月となりました。4月からは大きく環境も変わり、一つ大きい組になる子ども達。少しでもスムーズに環境に慣れることが出来るように少しずつ大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんの部屋へ遊びに行ったり、給食を食べたりしてきました。大きい子たちの生活の仕方を側で見たり、一緒にしてみたり、お兄ちゃん、お姉ちゃんと交流をし、一つ大きくなることを楽しみにする姿がありました。また、うさぎさん同士でも赤うさぎ、白うさぎと一緒に生活をするようになり、赤うさぎ、白うさぎ関係なく遊ぶ姿が少しずつみられるようになりました。色々な姿がある中で、お友だちに、「〇〇してないよ!」「どうしたの?」「貸してっていつてみたら?」と困った子がいると子ども同士で声を掛け合う姿が出てきていることに気が付き、成長を感じました。うさぎ組の一年で出来た友達との関わりを深め、広めながら来年度に向け少しでも不安がなくなるように残り一ヶ月を大事に過ごしていきたいと思います。(香月)



●年少組 今月の目標 自分でできる事は自分でしようとし、困ったときには自分なりの言葉で伝えられるようにする。

年齢別の生活が始まり1ヶ月が経ちました。同年齢の友だちと一緒に過ごす中で、お互いの姿を見て刺激し合っています。また、異年齢の中でお兄ちゃんお姉ちゃんがしていた姿を真似しようとしている子どもたくさんいます。遊びの場面では、鉄棒や平均台などに自ら挑戦し、前回りや坂道の平均台などできることが増えてきています。室内ではぬりえをする子が多く、線からはみ出さないように丁寧にぬることができるようになり、ぬりえカードを作ったことで最後までぬりきることもできるようになりました。少しずつ難しいぬりえにも挑戦していければと思います。生活面では、話をしっかり聞くこと、自分のかばんは自分で持つことなど約束事を伝え、自分たちでもしっかり意識できるよう声掛けをしています。年中ぐみに向けて、自分でできることは自分でしようとする、して欲しい事困った事は待っているだけでなく、自分の言葉で伝えられるようになって欲しいと考えています。年少ぐみで過ごすのもあと1ヶ月です。1つ大きくなることを楽しみにし、1日1日を大切に元気いっぱい過ごしていければと思います。(平塚)



●年中組 今月の目標 何事にも自分なりに関わり、やり遂げる達成感を味わいながら、自信をもって進級できるようにする。

先日、楽しみにしていたお出掛けに「小社公園」へ行きました。残念ながら動物園には行けませんでした。数日前から子ども達と持ち物を確認したり、自分で準備をすることがどうして大切なのかを伝えながらも楽しんでお出掛けへ出発できるように話を重ねてきました。当日はほとんどの子ども達が「準備できたよ!」「(持ち物リストに)しるし書いてきたよ!」としっかりと伝えてくれて忘れ物をしている子はほとんどいませんでした。子ども達が自分のために、自分のことを自分の力でやり遂げる良い経験となっているといいなと思います。また、今回の経験が1カ月後、ライオン組に進級したときに自分に対する自信や、その先のカへとつながっていくといいなと願っています。毎日の子ども達との対話を大切にしながら自分に必要な力を自分自身で感じて、気付いて目標を持って過ごしていけるように、また、一緒に考えながら見守っていきたいと思えます。(平澤)



●年長組 今月の目標 残りの保育園生活を楽しむ。

令和元年度も残すところあと一ヶ月となりました。ライオンぐみにとっては保育園で過ごす最後の一ヶ月となります。2月には3月の卒園、4月からの就学に向け様々な活動に取り組みました。ワークや運動遊びでは子ども達の成長をしっかりと感じる事ができ、園庭での自由遊びや散歩では子ども達同士の関係の深まりや絆、自分達だけで遊んでいけたり物事を解決していける力も見ることが出来ました。また、未満児クラスとの交流では小さな子達のお世話をしあげたり優しく声を掛けたり、お兄さん・お姉さんとしての頼もしさも感じる事が出来ました。少し前まではお世話をされる側だった子ども達が今ではしっかりと小さい子達の面倒をみてあげられている姿に我々保育士も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。卒園まであと残り少ない時間しかありませんが、ライオンぐみとして取り組みたいこと、取り組んでいくべきこともまだ少し残っています。みんなで卒園を迎えるその日まで、一日一日を大切に、保育園での楽しい思い出を作りながら色々な活動に取り組んでいければと思います。年長児の保護者の皆様には様々な行事、日々の活動の中でたくさんのご理解とご協力を頂き本当にありがとうございました。残り一ヶ月間もよろしくお願致します。(安田)

